

平成29年度 事業報告書

特定非営利活動法人アクティブ・ラーニング・アソシエーション

1 事業全体の総括

平成29年度の基本方針として掲げていた企業の人材育成の実施による経済的な基盤の強化については、実績としてはあげられないものの着実に準備をすすめることができた。それにより平成30年度からは、本格的に実施していく体制を整えることができたと考えている。また、人材育成プログラムの開発と高等学校向けの授業カリキュラムのブラッシュアップも計画通り実施し、平成30年度に向けての体制作りができたので、次年度はさらに事業拡大を進めていく。

以下事業毎に今期の成果を報告する。

◆アクティブラーニングの普及、推進事業

(ア)高校生を対象にアクティブ・ラーニング形式でのセミナーコンテンツの開発
キャリア教育の一環として、①コミュニケーション向上 ②マネープラン教育
③ライフプランを考えるプログラムなどのコンテンツ開発をすすめた。

(イ)高校生を対象とした進路選択講演（進学、就職）の実施とプログラム開発を推進した。

(ウ)大学生を対象としたキャリア教育プログラムの開発

残念ながら、今期は大学生を対象としたキャリア教育プログラムを実践することはできなかったが、神戸学院大学でインターンシップを希望する学生への講演依頼が入るなど、来期に向けての準備を進めることができた。

◆人材育成事業

アクティブラーニング形式での企業における人材育成セミナーコンテンツの開発をすすめるため、多様なセクターとつながることでネットワークを広めることを今期は目指した。その結果、株式会社アイ・キューブとの協業などにより、新規企業とのネットワークが広がった。また、早稲田高等学院の吉田教諭との共同研究である4shapesがようやく事業ベースで稼働できるようになったことも成果である。

◆教育技術向上のための研究事業

8月にコンピュータ利用教育学会のPCカンファレンスに参加し、共同執筆者である早稲田大学高等学院の教員が論文の口頭発表を行った。発表後の質疑応答も活発で教員の興味関心を得ることができたので、今後の研究および実践に活用できると実感できた。

◆ふれあい事業

幼児・小学生を対象とした親子で協力して目標を達成するための参加型プログラムの開発を推進し、プレ事業も実施した。

2 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	プロジェクトの内容	実施 回数	実施場所	対象者	支出 (千円)
初等・中等教育におけるアクティブラーニングの普及、推進事業	高等学校における授業、講演の実施	20校以上	二府四県の高等学校	高校生 約100人 /回	611
	高等学校向けのカリキュラムの開発	5種類	法人内	—	0
高等教育におけるアクティブラーニングの普及、推進事業	大学におけるキャリア教育の授業実践	0回	兵庫県下の大学	受講者 約100人	0
人材育成事業	企業の人材育成研修向けのプログラム開発	随時	法人内	—	0
教育技術向上のための研究事業	早稲田大学、甲南大学との共同研究と発表	年1回	コンピュータ利用教育学会(CIEC)	学会参加者約 1,000人	0
	論文の執筆	0本	学会誌等	—	0